

1. 自己評価及び外部評価結果

作成日 平成22年10月3日

【事業所概要(事業所記入)】

事業所番号	4670104076
法人名	有限会社 パッション
事業所名	グループホーム パッション
所在地	鹿児島県鹿児島市和田1丁目16番1号 (電話) 099-269-1171
自己評価作成日	平成22年9月10日

※事業所の基本情報は、介護サービス情報の公表制度のホームページで閲覧してください。

基本情報リンク先URL	http://kaken-shakyo.jp/kohyo
-------------	---

【評価機関概要(評価機関記入)】

評価機関名	NPO法人自立支援センターかごしま 福祉サービス評価機構
所在地	鹿児島県鹿児島市星ヶ峯四丁目2番6号
訪問調査日	平成22年9月28日

【事業所が特に力を入れている点・アピールしたい点(事業所記入)】

1日1日を大切に笑って過ごしたい。
ご家族に安心できる場所を提供したい。
最後まで寄り添ってきたい。
しかし、現実には厳しく、高齢化・重症化は避けられません。何度も悲しい経験をしましたが、私共の出来る限りのケアを実施し、ホーム生活がご本人・ご家族にとって有意義に過ごせるよう、今後も支援していく所存です。

【外部評価で確認した事業所の優れている点、工夫点(評価機関記入)】

- ・近くに病院・スーパー等があり利便性に優れている。
- ・掃除が行き届いていて清潔感あふれるホームである。
- ・町内会に加入し、地域の文化祭や運動会等に参加したり、消防訓練等には近隣住民の参加がある等、日常的に地域との交流が図られている。
- ・管理者や職員は、介護のエキスパートとして信頼関係が強く、自由に意見が言い合える環境にあり、仲よく責任感が強く笑顔で日々のケアに取り組んでいる。
- ・職員は、前向きで資格取得にも意欲的である。
- ・職員は、利用者や家族との馴染みの関係ができており、信頼関係も厚い。
- ・重度化や終末期・看取りについて、家族と話し合いながら職員も方針を共有し取り組みをしていく体制ができている。
- ・利用者の一人ひとりが、いい生活を楽しめるように、職員は全力でケアに取り組んでいる。

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
I. 理念に基づく運営					
1	1	○理念の共有と実践 地域密着型サービスの意義を踏まえた事業所理念をつくり、管理者と職員はその理念を共有して実践につなげている	理念をホーム内の目に付く場所に掲示し、本人の思いが実現できるように心がけると共に、利用者中心のケアをテーマに内部・外部研修等を利用し協議している。	事業所独自の理念を作り、リビング等の目に付くところに掲示している。また、ネームの裏にも印刷している。毎月の内部研修時に理念を全員で確認し共有して、日々のケアに取り組んでいる。	
2	2	○事業所と地域とのつきあい 利用者が地域とつながりながら暮らし続けられるよう、事業所自体が地域の一人として日常的に交流している	町内会に加入し、地域行事に積極的に参加している。その際、ホームの説明等を行い、理解を深めている。	町内会に加入し、地域の運動会・文化祭・ふるさと祭り等に積極的に参加している。踊り等のボランティアや高校生の実習の受け入れ・子供たちとの交流等も行っている。また、消防訓練等に地域住民の参加も得られ、日常的に地域との交流に努めている。	
3		○事業所の力を生かした地域貢献 事業所は、実践を通じて積み上げている認知症の人の理解や支援の方法を、地域の人々に向けて生かしている。	不定期ではあるが、町内会回覧板への新聞掲載・地域訪問を行い、介護保険制度・認知症等についての講話を行っている。		
4	3	○運営推進会議を活かした取り組み 運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている	民生委員・家族・地域包括支援センターを中心に運営推進委員会を実施し、外部からの意見・情報等を頂いている	地域・家族代表や地域包括支援センター職員等が参加して定期的に開催している。サービスの状況や評価の取り組み・行事についての話し合い等、出された意見やアドバイスをサービスの向上に活かしている。	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
5	4	○市町村との連携 市町村担当者と日頃から連携を密に取り、事業所の実情やケアサービスの取り組みを積極的に伝えながら、協力関係を築くように取り組んでいる。	谷山地域包括支援センター担当者に運営推進会議へ参加して頂き、ホームの取り組み等を伝えて意見を頂いている	市の担当者とは、介護サービスの相談等を行ったり、運営推進会議への参加等、連携を図っている。	
6	5	○身体拘束をしないケアの実践 代表者及び全ての職員が「指定地域密着型サービス指定基準及び指定地域密着型介護予防サービス指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、玄関の施錠を含めて身体拘束をしないケアに取り組んでいる。	委員会を設置し、定期的に検討・協議を行い、その都度ご本人の身体状況・ご家族の意向を取り入れながら身体拘束をしないケアに取り組んでいる	委員会を設置しており、2ヶ月ごとに話し合いを行い、日中の玄関の施錠はせずに自由に生活している。身体拘束をしないケアに取り組んでいる。	
7		○虐待の防止の徹底 管理者や職員は、高齢者虐待防止法等について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内での虐待が見逃されることがないように注意を払い、防止に努めている	委員会を設置し、定期的に研修・協議を行い自己啓発に努めている。言葉の虐待についてはお互いに注意しあうようにしている。		
8		○権利擁護に関する制度の理解と活用 管理者や職員は、日常生活自立支援事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、それらを活用できるよう支援している。	職員会議を活用し、勉強会を開いたり個々の必要性に対して話し合いを持ち、活用できるよう支援が行えるよう努力している		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
9		<p>○契約に関する説明と納得</p> <p>契約の締結、解約又は改定等の際は、利用者や家族の不安や疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている。</p>	<p>入居の際に利用者・ご家族に対して十分な説明を行い、疑問点や不明な点については随時対応を行っている。退居時は退居理由を文書にし、説明・署名を頂いている。</p>		
10	6	<p>○運営に関する利用者、家族等意見の反映</p> <p>利用者や家族等が意見、要望を管理者や職員並びに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている。</p>	<p>家族会へ管理者・職員等も出来る限り参加し、意見・要望など直接聞いている。家族会に出た意見・要望は随時反映させている。</p>	<p>家族の面会時に声かけを行ったり、年2回家族会を開催し、インフルエンザの予防についてや、不安について等、出された意見は運営に反映させている。意見箱も設置して意見をもらっている。</p>	
11	7	<p>○運営に関する職員意見の反映</p> <p>代表者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている。</p>	<p>毎月のミーティング時に運営に関する職員の意見・提案を出してもらい、可能な限る検討・反映させている</p>	<p>毎月のミーティングの折りに、職員の意見や提案・要望を聞いている。また、担当スタッフが、テーマを決めて話し合いを行う等、職員の意見を運営に活かす取り組みを行っている。</p>	
12		<p>○就業環境の整備</p> <p>代表者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、給与水準、労働時間、やりがいなど、各自が向上心を持って働けるよう職場環境・条件の整備に努めている。</p>	<p>外部・内部研修で意識を高め、各自資格試験等にて向上を図っている</p>		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
13		<p>○職員を育てる取り組み</p> <p>代表者は、管理者や職員一人ひとりのケアの実際と力量を把握し、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている</p>	<p>年間計画を立て、2ヶ月に1回2～3人のチームを組み、研修会を企画し内部研修を行っている。外部研修へも参加をし、スキルアップ・トレーニングに努め、それについては研修記録に綴り、開示している</p>		
14		<p>○同業者との交流を通じた向上</p> <p>代表者は、管理者や職員が同業者と交流する機会をつくり、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている</p>	<p>谷山地区協会での職員研修や管理者同士のネットワークを確立しており、相互訪問等の活動を行い、サービスの質の向上に努めている</p>		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
Ⅱ.安心と信頼に向けた関係づくりと支援					
15		○初期に築く本人との信頼関係 サービスの利用を開始する段階で、本人が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、本人の安心を確保するための関係づくりに努めている	本人・家族・ケアマネの情報を下に、相談では更に詳しい話も聞きながら、安心・信頼を得られるように納得いくまで話し合っている		
16		○初期に築く家族等との信頼関係 サービスの利用を開始する段階で、家族等が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、関係づくりに努めている	サービスを進めていく中で起きてくる要望や問題点に関しては、その都度連絡・話し合いを行い、解決策を探したり情報の共有等に努めている		
17		○初期対応の見極めと支援 サービスの利用を開始する段階で、本人と家族等が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている	相談者が必要としているサービスは何であるか分析し、他のサービス業者とも話し合いながら最も適した対応が出来るよう努めている		
18		○本人と共に過ごし支え合う関係 職員は、本人を介護される一方の立場に置かず、暮らしを共にする者同士の関係を築いている	一緒に生活していく中で、利用者周囲やホーム関係者と信頼関係を築きながら、個々の趣味や経験を生かせるように支援している		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
19		○本人と共に支え合う家族との関係 職員は、家族を介護される一方の立場に置かず、本人と家族の絆を大切にしながら、共に本人を支えていく関係を築いている	本人の身体及び精神状態等を面会時や文書等で行い、また緊急時はその都度連絡し、問題の早々な解決へ向けて対応している		
20	8	○馴染みの人や場との関係継続の支援 本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている	馴染みの方が気楽に来訪して頂けるような雰囲気作りや電話や手紙での交流も出来るよう住所録も設置している	家族・親戚・友人等の訪問があつたり、電話をかけて連絡を取っている。また馴染みの店へ買物へ出かけたり美容室へ出かけたり、自宅に立ち寄る等、馴染みの関係が途切れないように支援を行っている。	
21		○利用者同士の関係の支援 利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せずに利用者同士が関わり合い、支え合えるような支援に努めている	職員が常時会話に加わるようにしており、利用者のサポートを行っている		
22		○関係を断ち切らない取り組み サービス利用（契約）が終了しても、これまでの関係性を大切にしながら、必要に応じて本人・家族の経過をフォローし、相談や支援に努めている	退居後もその後の状況・経過等を把握し、本人・家族への支援を行っている		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
Ⅲ. その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント					
23	9	○思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している。	一人ひとりの方々とコミュニケーションを図りながら、会話の内容や表情などから本人の希望に添える様にスタッフ同士で話し合っている	利用者のふるまいや表情を見ながら、また、会話の中から思いや希望を把握するように努めている。困難な場合は、家族と話し合ったり職員間で意見を出し合いながら、本人本位に検討を行い、把握に努めている。	
24		○これまでの暮らしの把握 一人ひとりの生活歴や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている	本人・家族より聞き取り調査を行っている		
25		○暮らしの現状の把握 一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状の把握に努めている	一人ひとりの日常の様子を観察し、情報交換をし、スタッフ一同が把握できているよう努めている		
26	10	○チームでつくる介護計画とモニタリング 本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映し、現状に即した介護計画を作成している	毎月、担当者がモニタリングを行っている。また、定期的にスタッフミーティングも行っており、今の状況にあった介護計画を立てている	毎月モニタリングを実施し、3ヶ月毎にケアプランの更新を行っている。職員・家族・担当医師等で、話し合いをして、意見を出し合い現状に即した介護計画を作成している。	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
27		○個別の記録と実践への反映 日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、職員間で情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている	日常生活での気づきやケアの実践は記録へ記入し、スタッフ間での情報交換を行い、今後のケアにも反映できるようにしている		
28		○一人ひとりを支えるための事業所の多機能化 本人や家族の状況、その時々生まれるニーズに対応して、既存のサービスに捉われない、柔軟な支援やサービスの多機能化に取り組んでいる	一人ひとりのその時の状況に合ったサービスやケアを行っており、必要ならば緊急にスタッフミーティングを実施し、スタッフ同士の意見を出し合いながら現状にあったケアが出来るよう努めている		
29		○地域資源との協働 一人ひとりの暮らし方を支えている地域資源を把握し、本人が心身の力を発揮しながら安全で豊かな暮らしを楽しむこ	地域の行事等にも参加させて頂き、楽しく生活出来る様に支援している		
30	11	○かかりつけ医の受診支援 受診は、本人及び家族等の希望を大切にし、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している	受診の際にはADL・状況報告を行うようにし、時には家族の方にも同行して頂き、相談等も行っている	事業所を利用する前からのかかりつけ医が主治医になっている。主治医へ情報を提供し連携を取りながら適切な医療が受けられるように支援を行っている。医療機関への送迎もしている。	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
31		<p>○看護職員との協働</p> <p>介護職員は、日常の関わりの中でとらえた情報や気づきを、職場内の看護職員や訪問看護師等に伝えて相談し、個々の利用者が適切な受診や看護を受けられるように支援している</p>	<p>看護師免許取得者が主体となり、訪問看護師や主治医との連携を取り、看護を受けられる環境を整えている</p>		
32		<p>○入退院時の医療機関との協働</p> <p>利用者が入院した際、安心して治療できるように、また、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。または、そうした場合に備えて病院関係者との関係づくりを行っている。</p>	<p>入院時はスタッフがお見舞いに行き、状態を把握し医療機関との情報交換を行い、早期退院に努めている</p>		
33	12	<p>○重度化や終末期に向けた方針の共有と支援</p> <p>重度化した場合や終末期のあり方について、早い段階から本人や家族等と話し合いを行い、事業所でできることを十分に説明しながら方針を共有し、地域の関係者と共にチームで支援に取り組んでいる</p>	<p>家族との話し合いを定期的に行い、終末期において家族の意向を聞きながら、本人の気持ちに沿った支援を行っている</p>	<p>重度化や終末期のあり方・看取りについて、利用者・家族と定期的に話し合いを行っている。管理者・職員で会議をして状況が変化するたびに対応を話し合い、方向性を共有しながら、支援に取り組んでいる。</p>	
34		<p>○急変や事故発生時の備え</p> <p>利用者の急変や事故発生時に備えて、すべての職員は応急手当や初期対応の訓練を定期的に行い、実践力を身に付けている</p>	<p>急変時に備え、「緊急時対応マニュアル」を作成し、定期的なミーティングを行い訓練し、緊急時に備えている</p>		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
35	13	<p>○災害対策</p> <p>火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を全職員が身につけるとともに、地域との協力体制を築いている</p>	<p>年2回消防署立会いの下訓練を実施しており、その際民生員・家族の参加お願いしている。また、訓練時に講演をお願いし理解を深めている。</p>	<p>年2回の消防訓練を消防署の立会いのもと、昼・夜間想定で行っている。地域の民生委員や近隣住民・家族も参加している。備蓄についても水や食料品が準備されている。</p>	

自己評価	外部評価	項目	自己評価		外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容	
IV. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援						
36	14	○一人ひとりの人格の尊重とプライバシーの確保 一人ひとりの人格を尊重し、誇りやプライバシーを損ねない言葉かけや対応をしている	各居室・入室の際には声かけ・ノックを行い入室している	居室への入室の際やトイレ誘導時・入浴時の声かけ等、細やかに、さりげなく行い、プライバシーの確保に努めている。		
37		○利用者の希望の表出や自己決定の支援 日常生活の中で本人が思いや希望を表したり、自己決定できるように働きかけている	ホーム行事の際の外出は、本人に希望を聞いて外出したり、外出先でも好みのメニューで食事を召し上がって頂いている			
38		○日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している	食事はゆっくりとご本人のペースで召し上がって頂き、昼食後の休息も本人希望を伺い対応している			
39		○身だしなみやおしゃれの支援 その人らしい身だしなみやおしゃれができるよう支援している	理容師の訪問にて希望の方はカットされている。また、外出時は気候に合った服装で外出されている			
40	15	○食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている	出来る範囲で片付けをして頂いている	車椅子の利用者が増えているが、職員と一緒に献立をリビングに掲示したり、買い物と一緒に出かけたり、片付けを行ったりして、食事が楽しみになるように支援をしている。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
41		<p>○栄養摂取や水分確保の支援</p> <p>食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている</p>	<p>ADL評価・排泄パターン表に1日の摂取量を記載し、確保できない場合は補食などで対応している</p>		
42		<p>○口腔内の清潔保持</p> <p>口の中の臭いや汚れが生じないように、毎食後、一人ひとりの口腔状態や本人の力に応じた口腔ケアをしている</p>	<p>食後に義歯洗浄を実施し、口腔内はハミンググッドなどで洗浄している。また、介助用品・訪問歯科などを利用している</p>		
43	16	<p>○排泄の自立支援</p> <p>排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして、トイレでの排泄や排泄の自立に向けた支援を行っている</p>	<p>排泄パターン表を参考にし、声かけを行い誘導実施している。介助の際には残存機能を生かすような声かけを行い介助している</p>	<p>一人ひとりの排泄パターンを確認しながら、日中はできるだけトイレでの排泄への誘導を行っている。快適で清潔にとの思いで取り組んでいる。。</p>	
44		<p>○便秘の予防と対応</p> <p>便秘の原因や及ぼす影響を理解し、飲食物の工夫や運動への働きかけ等、個々に応じた予防に取り組んでいる</p>	<p>排泄パターン表で排便確認をしている。水分補給・食物繊維などの摂取工夫・腹部マッサージを行っている</p>		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
45	17	○入浴を楽しむことができる支援 一人ひとりの希望やタイミングに合わせて入浴を楽しめるように、職員の都合で曜日や時間帯を決めてしまわずに、個々に応じた入浴の支援している	当日の健康状態に応じ実施している。要望があれば、いつでも入浴出来るよう対応している。	入浴は、週3回午前中と一応決めているが、利用者の状況や要望・タイミングに合わせていつでも入浴の対応ができるように支援している。失禁時はその都度シャワー浴で対応している。	
46		○安眠や休息の支援 一人ひとりの生活習慣やその時々状況に応じて、休息したり、安心して気持ちよく眠れるよう支援している	個々の意思を尊重し、ゆっくりと休息できるよう室温調整・不安な時は談話したりし配慮している		
47		○服薬支援 一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている	その都度服薬の説明・服薬の目的などの情報を共有している。受診後、医療連携表に記載し把握している		
48		○役割、楽しみごとの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活暦や力を活かした役割、嗜好品、楽しみごと、気分転換等の支援をしている	個々の残存機能を生かし、お手伝いやレクリエーションなどを行っている。また、ご家族の協力により、嗜好品の持ち込み・写真の貼り付け等を行っている		
49	18	○日常的な外出支援 一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるように支援に努めている。また、普段は行けないような場所でも、本人の希望を把握し、家族や地域の人々と協力しながら出かけられるように支援している。	ご本人に要望を聞いたり、ご家族による外出も勧めている。年間行事にも工夫をし、演奏・外出・外食等を行っている	その日の様子を見て散歩や買い物に出かけたりしている。家族と一緒にの外出もある。また、そうめん流し等、利用者の希望に沿って出かけたりしながら、外出支援を行っている。	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
50		<p>○お金の所持や使うことの支援</p> <p>職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している</p>	<p>可能な範囲で、スタッフと共に出納管理を行い、紛失等の防止を行うと共に安心感をもって頂いている</p>		
51		<p>○電話や手紙の支援</p> <p>家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援している</p>	<p>要望があればいつでも電話の使用が可能である</p>		
52	19	<p>○居心地のよい共用空間づくり</p> <p>共用の空間（玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等）が、利用者にとって不快や混乱を招くような刺激（音、光、色、広さ、湿度など）がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている</p>	<p>乱雑にならない様に工夫し、四季に合わせた装飾・行事を行い、季節感が味わえるように工夫している</p>	<p>玄関に花が活けてあり、大きな窓の明るく広いリビングには季節の飾りがなされ、掃除が行き届いており清潔感がある。テレビやソファが置いてあり、対面キッチンからは調理の匂いがして家庭的な雰囲気がある。また広い廊下に手すりがあり安全である。</p>	
53		<p>○共用空間における一人ひとりの居場所づくり</p> <p>共用空間の中で、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている</p>	<p>全室個室にて対応し、居室空間は住み慣れた雑貨・家具が持ち込み・設置可能にしている</p>		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
54	20	<p>○居心地よく過ごせる居室の配慮</p> <p>居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている</p>	<p>ご本人・ご家族と協議しながら必要な小物・家具等持参して頂いている。自立度の高い方は一緒に同行し、購入している</p>	<p>寝具や仏壇・家族の写真・置時計・椅子・ドレッサー等の本人の好みのものが置いてある。また、猫を飼っている人もいて、居心地よく過ごせるように配慮がなされている。</p>	
55		<p>○一人ひとりの力を活かした安全な環境づくり</p> <p>建物内部は一人ひとりの「できること」や「わかること」を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している</p>	<p>手すり・引き戸・バリアフリーを採用し、安全な環境を提供している。場所・物についてはポスターや案内板を利用している</p>	/	/

V アウトカム項目

56	職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる。 (参考項目：23, 24, 25)	○	1 ほぼ全ての利用者の
			2 利用者の2/3くらいの
			3 利用者の1/3くらいの
			4 ほとんど掴んでいない
57	利用者と職員が一緒にゆったりと過ごす場面がある。 (参考項目：18, 38)	○	1 毎日ある
			2 数日に1回程度ある
			3 たまにある
			4 ほとんどない
58	利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている。 (参考項目：38)	○	1 ほぼ全ての利用者が
			2 利用者の2/3くらいが
			3 利用者の1/3くらいが
			4 ほとんどいない
59	利用者は、職員が支援することで生き生きとした表情や姿が見られている。 (参考項目：36, 37)	○	1 ほぼ全ての利用者が
			2 利用者の2/3くらいが
			3 利用者の1/3くらいが
			4 ほとんどいない

60	利用者は、戸外の行きたいところへ出かけている。 (参考項目：49)		1 ほぼ全ての利用者が
			2 利用者の2/3くらいが
		○	3 利用者の1/3くらいが
			4 ほとんどいない
61	利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごせている。 (参考項目：30, 31)	○	1 ほぼ全ての利用者が
			2 利用者の2/3くらいが
			3 利用者の1/3くらいが
			4 ほとんどいない
62	利用者は、その時々状況や要望に応じた柔軟な支援により安心して暮らせている。 (参考項目：28)	○	1 ほぼ全ての利用者が
			2 利用者の2/3くらいが
			3 利用者の1/3くらいが
			4 ほとんどいない
63	職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができている。 (参考項目：9, 10, 19)		1 ほぼ全ての家族と
		○	2 家族の2/3くらいと
			3 家族の1/3くらいと
			4 ほとんどできていない

64	通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている。 (参考項目：9, 10, 19)		1 ほぼ毎日のように
			2 数日に1回程度ある
		○	3 たまに
			4 ほとんどない
65	運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係者とのつながりの拡がりや深まりがあり、事業所の理解者や応援者が増えている。 (参考項目：4)		1 大いに増えている
		○	2 少しずつ増えている
			3 あまり増えていない
			4 全くいない
66	職員は、生き生きと働いている。 (参考項目：11, 12)	○	1 ほぼ全ての職員が
			2 職員の2/3くらいが
			3 職員の1/3くらいが
			4 ほとんどいない
67	職員から見て、利用者はサービスにおおむね満足していると思う。		1 ほぼ全ての利用者が
		○	2 利用者の2/3くらいが
			3 利用者の1/3くらいが
			4 ほとんどいない
68	職員から見て、利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う。		1 ほぼ全ての家族等が
		○	2 家族等の2/3くらいが
			3 家族等の1/3くらいが
			4 ほとんどいない